

脳波計 (EEG)

脳波はきわめて小さな脳の電気信号を頭の表面から取り出し、脳波計で記録したものです。この波形から脳に関する病気の診断をしたり治療の効果を確認します。



■ 脳波検査とは

人間が活着している限り、脳に限らず心臓にしても筋肉にしても人間の体には何らかの電気活動があります。脳が働いている時の電気活動を脳波計でとらえたものが脳波検査(EEG)です。脳の神経の働きをみる検査です。

頭にたくさんの電極をつけて、ビリビリと電流を感じるのではとご心配の方がいらっしゃるかもしれませんが、脳の電気活動を電極から脳波計にキャッチしているのであって、脳波計から電気刺激を与える検査ではありませんのでご安心ください。

■ 検査の流れ

- 1) 頭部に 14 個、耳に 2 個、手に 2 個の丸い電極を装着します。

その際、脳波をきれいに脳波計にキャッチできるように、装着部分の皮膚の油や汗を落とすために少し強くこすります。



- 2) ベッドにお休みいただき、安静に閉眼している状態を 30 分程脳波計で記録していきます。

その際、眠っている時の脳の活動としっかりと覚醒している時の脳の活動を脳波計で記録しますので、眠気が出てきましたらそのままお休みください(睡眠賦活法)。脳波検査(EEG)中は緊張して眠れないこともありますので、その場合は、主治医から処方されているお薬を飲んで眠っていただく方法もとられます。



- 3) 過呼吸賦活法

同じく安静閉眼状態で、検査技師の掛け声にあわせて、3 分間深呼吸をしていただきます。過呼吸負荷によって、脳波に変化がみられるかをみる脳波検査(EEG)です。



- 4) 光刺激賦活法

ストロボスコープの閃光を、眼前 15cm ~ 30cm の所から点滅させて脳波計で記録します。

※賦活法とは…安静時の記録では不明であるか、軽度にはか出ない異常波を顕著に出現させるための操作をいいます。

※3) 4) の検査は医師のオーダーにより、行う場合と行わない場合があります。

■ MRI検査を受けるにあたって事前の注意事項

- 脳波検査(EEG)前日は頭髪をできるだけきれいに洗ってください。
ポマードやムース、リキッド類はつけないでください。
- 脳波検査(EEG)中、自然に眠りにつくことが望ましいので前夜は過眠にならないよう、少々寝不足気味にしておいてください。午後の脳波検査(EEG)の場合は、昼寝もひかえてください。
- 予約の時間枠いっぱいかかる検査ですので、予約時間に遅れないようにおいでください。